

## 「進化と適応」著者の意見と一般的な意見

評論文は概して「一般的には~~または~~×~~は~~」と思われて~~いる~~が、実はである。という形式で書かれてある。それにもとに、「進化と適応」(P154-)の文章に書かれてある、著者の意見・結論と一般論を見つけて、ワークシートに記載していこう。

具体的には、「」で囲むこと。(要約する場合は「」で囲むこと。) 対立していいる意見はなるべく上下に記し、「」のように対立を表す記号を記す」といふ。そのものづくり」を書くこと。メタディスコースは言い切る形に変換して記す。

一般的な意見認識・対立意見認識	著者の意見・結論
(例) 155頁3行目あたりから生物は自然淘汰により環境に適応した種が残るため、最も原始的なアメーバは不完全形で、最も新しい人類が完全化された生物である。	155頁13行目あたりから「アメーバから人間まで」というこの表現には、どうもおかしいところがある。たゞ單純に「アメーバから人間まで」などと語る。ただけでは、事がすまないような気がしてくる。
156頁8行目 アメーバは環境に「不適応」ではなく、適応して生き残っている。	

一般的な意見認識・対立意見認識

著者の意見・結論